

第3節 下水道

1. 多摩川上流流域下水道

流域下水道は、広域的な根幹下水道であり、昭和55年度までに全部を完成させる予定で建設が進められている。

本年度の福生市負担金は、57,672千円であり、施行概要は、つぎのとおりである。

多摩川上流幹線	内径 2.0 m ~ 2.1 m	延長 1次巻 3,231 m
		2次巻 1,558 m
残堀川幹線	内径 2.2 m	延長 1次巻 750 m
		2次巻 750 m
処理場	用地買収	35,828 m ²
	地質調査、設計委託	一式
	仮排水路工事	幅 15 m 延長 319 m
		幅 6 m 延長 149.5 m
	築堤工事	約 1,000 m 吐口、水門一式

2. 都市下水路組合

青梅、羽村、福生地区都市下水路組合では、昨年度建設した水質検査所の専門技術員4人が水質検査を実施し、関連工場汚水の浄化のための行政指導を行った結果として、約100社の工場排水について、大手工場を毎月1回、その他は3月に1回または抜き打ち的に水質検査を実施したところ、合格は62.2パーセント、基準よりやや水質不良37.8パーセントこれはB、O、Dが比較的高いため、口答で申し入れて自主改善をさせている。昨年度の最も不良5パーセントは、改善命令に従って、改善を行い、浄化した。今後も積極的に指導強化をはかる。本年度は、静岡県富士市の工場排水路事業の視察を行った。

3. 横田飛行場周辺排水路事業

名 称	場 所	金 額	内 容
中央幹線排水路 新設工事(其の1)	福 生 市 志茂地内	74,887千円	工事延長129.31m内径2.30m 人孔工1ヶ所 管布設工23.64m推進工72.02m
中央幹線排水路 新設工事(其の2)	”	29,686千円	工事延長149.76m内径2.30m 人孔工1ヶ所 管布設工146.56m

4. 福生市公共下水道計画

急速な都市化による人口の集中化、生活様式の近代化及び産業の発達に伴って大量の汚水が発生しているが、衛生的な都市環境を図るためには、下水道施設の早急な整備が必要である。そこで将来の福生市の全ぼうを予測し、全市に下水道を布設する構想のもとに基本計画を策定した。

項 目	数	値
計画処理区域	991.0 ha	全区域自然流下
計画排水区域	953.5 ha	”
計画処理人口	61,000人	流域下水道計画 I
下水排除方式	分流式	953.5 ha
	合流式	37.5 ha
家庭汚水量	日平均汚水量	360ℓ/日1人
	日最大 ”	440 ”
	時間最大 ”	640 ”
降雨強度式	$I = \frac{5,000}{t+40}$	(50mm/hr)
流出係数	0.5	